

九

州

ネ

ッ

ト

9月8日
第10号

九州体育・保健体育ネットワーク研究会

福岡県開催<とんこつラウンド> H24.9.8(Sat) in 福岡県立スポーツ科学情報センター

雨の中、岩手大学清水将先生をはじめ、広島から5名、九州各県から39名、計45名の皆様を迎え、第11回九州体育・保健体育ネットワーク研究会<とんこつラウンド>を開催することができました。夜の情報交換会には、夜から駆けつけていただいた方を含め31名が出席し、なかなか手に入らない焼酎「愛子」(佐藤先生提供)や珍しい岩手の日本酒(清水先生提供)を嗜みながら、盛り上がりました。昼も夜も、体育が好き、体育を良くしたいという皆様の熱い思いが飛び交う充実した会でした。皆様ありがとうございました。

当日は、バスケットボールと水泳の大会のため、駐車場がなく、大変ご迷惑をおかけしました。

1 福岡教育大学の研究報告

研究報告1として、福岡教育大学で取り組んでいる「エキスパート・ティーチャー」の職能構造に関する調査研究報告を本多壮太郎先生に行っていただきました。エキスパート・ティーチャー(研究上の名で、教師本人が自覚しているものではない)は、技能習得のための工夫や学びの場の設定はもちろんであるが、学習者への適切なタイミングでフィードバックを与えているなど、一人ひとりの学習者に配慮した授業計画・準備・実践が行われているという調査研究の報告がありました。



2 体育研究所調査研究報告



研究報告2として、松延聡先生から福岡県体育研究所が取り組んでいる調査研究「体育的学力を育む授業づくり」の中間報告及び実践紹介(映像)がありました。この研究については、3月のファイナルラウンドで解説編が紹介されましたが、今回はその解説編に基づいた授業実践を加え、さらに具体化されたもので、参加者にこれからの体育・保健体育の実践に向けての問題提起がなされました。

3 意見交換とまとめ

福岡教育大学・福岡県体育研究所の調査研究報告を受け、12グループで意見交換を行い、最後に各グループから発表をしていただきました。発表では、エキスパート・ティーチャーの報告に関する関心の高さが感じられました。また体育的学力を育む授業づくりについても、論理的思考に関することなど、多くの意見が出され、充実した意見交換の場となりました。適宜、佐藤豊先生より、「職人技をどう継承するかが課題であること」や「発達の段階に応じた思考・判断の在り方」などまとめていただきました。



「ホームページ」まもなく運用開始!

長崎県宮田先生から、ホームページの活用方法の説明がありました。それぞれの立場で活用できるように工夫されています。情報の共有化が図れると思います。楽しみです!

次回は、佐賀むつごろうラウンド

10月13日(土) 場所: 佐賀大学本庄キャンパス
佐賀市本庄町1番地

「ネット型の授業づくり」や「指導と評価の一体化を目指した授業づくり」の報告など内容豊富です。多くの参加をお待ちしています。 佐賀県事務局